

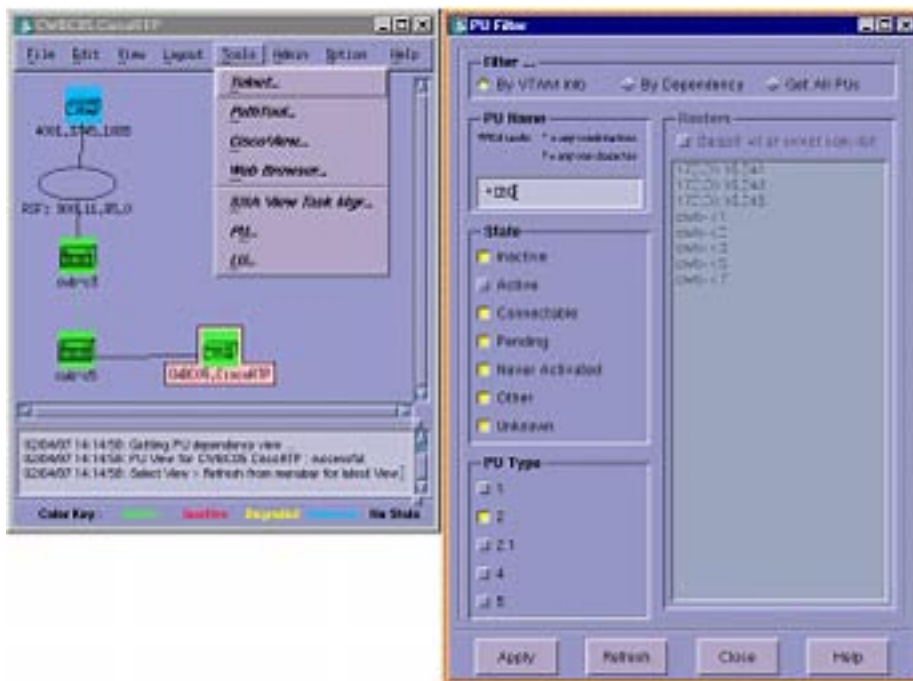
CiscoWorks Blue SNA View リリース 1.2

ネットワーク管理アプリケーションである CiscoWorks Blue ファミリーに CiscoWorks Blue SNA View が加わり、SNA (システムネットワークアーキテクチャ) と TCP/IP の統合ネットワークのための関連機能と制御が追加されました。重要なメインフレーム情報を検索することによって、SNA View は、PU (物理装置) および LU (論理装置) の情報を CiscoWorks Blue Maps で作成されるグラフィカルマップに追加します。SNA View によって SNA リソース名と関連ルータの相互関係が明らかになるので、IP ネットワークまたは SNA 環境における問題を、より簡単に特定し、解決することができます。

リソース情報がダイナミックに更新されるので、任意の時点でのネットワークの状態を表示できます。したがってネットワーク管理者は、PU / メインフレーム間のエンドツーエンドの接続状態や重要なステータス / 関連情報を、同じマップ上で確認することができます。

メインフレームから収集される VTAM (Virtual Telecommunications Access Method) SNA リソース情報は、MAC (メディアアクセス制御) アドレス情報と関連づけられ、CiscoWorks Blue Maps アプリケーションによって生成されるプロトコルマップに反映されます。

図 1 : SNA View におけるフィルタの使用

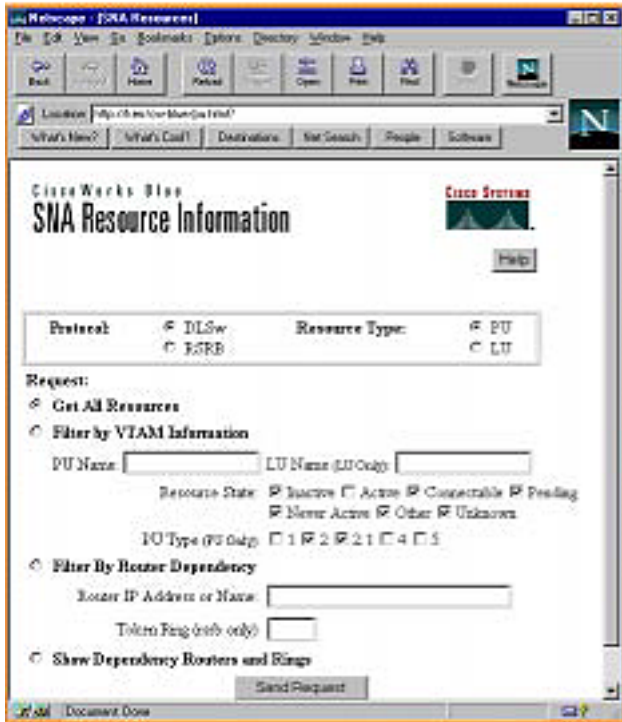


CiscoWorks Blue SNA View では、SNA と TCP/IP の統合ネットワークを管理するための独自ソリューションを提供します。SNA View の実行に不可欠である CiscoWorks Blue Maps と組み合わせることによって、プロトコルに特有の詳細情報を入手して IBM インターネットワークをインテリジェントに管理することができます (図 1 を参照)。このような機能を提供する製品は、他にはありません。

Web 上での管理

Webを利用することによって、ネットワーク管理者はどこにいても、任意のブラウザを使用して、必要な情報を検索することができます。ブラウザのインターフェースは、誰もがすぐに使いこなせるマルチプラットフォーム対応ツールです。CiscoWorks Blue SNA Viewからの情報をWeb上に載せることによって、ネットワーク管理者は、ネットワークステータスおよびユーザー利用状況についての情報ページをカスタマイズし、ネットワークアベイラビリティに関する情報を表示できるほか、問題の判別および診断に役立つデータを検索することもできます(図2を参照)。

図2 : Web アクセス



生産性とアベイラビリティの向上

ネットワークを統合する場合、SNAプロトコルとTCP/IPプロトコルの両方を理解しているネットワーク管理者が見つからない、といった問題が生じることがあります。統合ネットワークによる利点を最大限に活用するには、統合ネットワークの運用作業そのものが簡単でなければなりません。CiscoWorks Blue MapsおよびSNA Viewを使用すれば、SNA PUセッションを実行しているルータを判別できるので、ネットワークの問題をより簡単に診断でき、ネットワークの可用性は確実に向上します。一般的にメインフレームアプリケーションのユーザーは、PU名はわかっても、SNAセッションを実行しているIPルータについては何も知らないものです。マルチプロトコルネットワークの問題を解決する場合、SNA Viewならば、問題を迅速に解決するために必要な情報が自動的に提供されます(図3を参照)。

図3 : SNA 制御



SNA Viewでは、次の関連情報および制御機能を提供します。

- PU/LUステータス情報
- 名前および基準によるPU/LUの配置情報
- PU/LUの依存関連情報
- PU/MACアドレス関連情報
- PU/LUセッションのアクティブ化 / 非アクティブ化
- セッションの停止 / 強制実行
- メインフレームコマンドの送信

コンソールの統合

オープンな異機種マルチベンダネットワークを管理する方法としては、従来、SNMP(簡易ネットワーク管理プロトコル)管理プラットフォームが使用されてきました。ほとんどの場合、これはSNMPエージェント、デバイス、またはプロキシを管理することを意味します。しかしSNA環境では、ホストだけを管理すればよいので、IBMのNetViewまたはSterlingのSOLVE: Netmasterといった製品が使われています。そのため、マルチプロトコル環境では、最低2台、状況によっては3台のコンソールが必要ということになります。しかも、これらのコンソールは通常、相互運用することはできません。CiscoWorks Blue SNA Viewでは、単一コンソール上にSNAデバイスとマルチプロトコルデバイスの両方の情報が表示されるので、複数のコンソールを設置しなくても、マルチプロトコル統合ネットワークを効率的に監視できます。このコンソールでSNA Viewは、一貫したユーザーインターフェースと共通管理インフラストラクチャを採用しているほか、データやコントロールをすべて、使いやすいアイコンとしてグラフィック表示します。

ハードウェア/ソフトウェアの仕様

CiscoWorks Blue SNA View リリース 1.2 は、次のシステムでサポートされます。

HP 9000 シリーズ: HP-UX 10.10/10.20、および HP OpenView 4.1/4.1.1/5 を搭載

Sun SPARCstation: Solaris 2.5.1 および HP OpenView 4.1.1/5、または SunNet Manager 2.2.3/2.3 を搭載

IBM RISC System/6000 ワークステーション: AIX Version 4/Release 1.5 または Version 4/Release 2、および NetView for AIX Version 4.1/5 (TME/10 NetView) を搭載

ワークステーションには、次のハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

CiscoWorks 3.x 以上のソフトウェア

CiscoWorks Blue Maps 1.2

カラー モニタ

PostScript 互換プリンタ (ウィンドウイメージ出力用)

CD-ROM ドライブ (ホストシステムに搭載されているか、アクセス可能なりモートホストにあってもよい)

50 MB のディスク容量 (CiscoWorks Blue Maps に必要なディスク容量をのぞく)

64 MB の RAM (CiscoWorks Blue Maps に必要な RAM をのぞく)

96 MB のスワップスペース (CiscoWorks Blue Maps に必要な容量をのぞく)

すべての CiscoWorks Blue SNA View ワークステーションに、SNA View メインフレームへの TCP/IP 接続または LU 6.2 接続を設定する必要があります。TCP/IP 接続は、ワークステーションのオペレーティングシステムで設定します。LU 6.2 接続は、次の製品のいずれかを使用して設定します。

AIX システムの場合、IBM Communications Server for AIX Version 4/Release 2 以上

HP-UX システムの場合、HP-UX SNAplus2 Release 5.1 (SNAplus2 Link および SNAplus2 API を含む)

LU 6.2 接続は、Solaris 搭載のワークステーションではサポートされません。

メインフレームのハードウェア/ソフトウェア要件

カートリッジテープ読み取り装置: 3480 カートリッジ読み取り可能、密度 6250 ビット/インチ (bpi)

20 シリンダの 3380 ダイレクトアクセスストレージまたは同等製品 (SMP/E ターゲットおよびディストリビューションライブラリ用の容量を含む)

MVS/ESA 4.1 以上、および SMP/E Release 7 以上

VTAM 4.1 以上

次のいずれかの通信プロトコル:

SNA LU 6.2

TCP/IP (Cisco IOS for S/390、IBM TCP/IP for MVS Version 3/Release 1 以上、または Interlink TCP/IP for MVS)

その他のソフトウェア要件

CiscoWorks 3.x

CiscoWorks Blue Maps 1.2

Netscape Navigator 1.12 以上、または Microsoft Internet Explorer 3.0 以上

Cisco IOS サポート

CiscoWorks Blue Maps アプリケーションに要求される MIB (Management Information Base) には、Cisco IOS Release 11.0 以上が必要です。また、次のリリースレベルが必要になります。

RSRB (Remote Source-Route Bridging) の場合、Cisco IOS Release 11.0 以上。FST (Fast-Sequenced Transport) の場合、Cisco IOS Release 11.0(13)、11.1(8)、または 11.2(3) 以上

DLsw (Data-Link Switching) の場合、Cisco IOS Release 11.1(7) 以上。DLsw トラップの場合、Cisco IOS Release 11.3 以上

APPN (Advanced Peer-to-Peer Networking) の場合、Cisco IOS Release 11.0(6) 以上。DLUR (Dependent LU Requester) の場合、Cisco IOS Release 11.2(1) 以上

©2000 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco と Cisco Systems は商標です。Cisco のロゴは Cisco Systems, Inc. の登録商標です。

この文書で説明した商品、サービスはすべて、それぞれの所有者の商標、サービスマーク、登録商標、登録サービスマークです。

本仕様は予告なしに変更される場合があります。



シスコシステムズ株式会社

URL: <http://www.cisco.com/jp/>

E-mail: cnac@cisco.com

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-3 富士ビルヂング
TEL.03-5645-8856 FAX.03-5641-3523

お問い合わせ先